

第1章「稼ぐ力」の強化と地域経済循環の活性化

第1節 農業の振興

施策の 基本 的 方 向	【基本的方向】 「夢と希望が持てる農業のまち」として、農業者をはじめ、町民みんなでふるさとに誇りを持って北栄町の農業を次の世代へつなげていくことを目指します。	【令和5年度までの評価】							【令和6年度の評価】(中間)			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】
		【～R3】 本町の主幹産業である農業の振興を図るため、産地パワーアップ事業や園芸産地活力増進事業など、国県の有効な事業を活用して生産出荷に係る施設整備を促進している。 将来を見据えて担い手の育成・確保に係る新規就農者や親元就農者を支援する事業を展開した。 【R4】 農業振興の推進、安定した収量の確保のため、施設整備支援、担い手(新規就農者)確保を引き続き取り組んでいる。 農業振興を図るため、国県の各種事業を活用し、新規就農(担い手)確保、施設整備を支援し、産地維持に取り組めた。 ブランド化による単価の安定、新規就農者数・支援に関しては順調。 就農者数と離農者数のバランス、人材紹介センターについては引き続き取り組みを強化する。 【R5】 担い手確保に向け、生産部、JA、県等の関係機関と連携し、産地体験会等の取り組みを実施した。							農業振興、担い手育成を図るため、生産部、JA、県等の関係機関との連携、国県の補助事業の活用、新規就農相談会等の事業を展開した。					
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目) 期末		R6(5年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
				実績値	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明			
		町内農業総生産額 ※市町村別農業生産額推計	86.4億円 (H30)	85.9億円 (R1)	数値なし ※調査結果の未公表 評価なし	86.3億円 (R2) やや遅れている	88.1億円 (R4※R6.3.14 公表値)/ やや遅れている	国の発表する 指標	野菜(特にすいか)・畜産(特に肉用牛)において生産額の増加があったが、農家数及び作付面積の減少などは継続している。	— ※R7.3月公表 予定	国の発表する 指標	担い手不足による生産者及び作付面積の減少がみられる。	89.4億円	
耕作放棄地の面積	36.1ha	38.3ha	46.6ha 遅れている	51.3ha 順調	76.6ha やや遅れている	—	・農業委員などによる現地調査、農地中間管理機構などを活用しての遊休農地の解消を図っている。 ・新たな遊休農地を増やさないようにするため、農家相談等を実施している。 ・遊休農地は、多少の減少はみられるが、横ばい状態となっている。	88.0ha 遅れている	—	・農業委員による農家相談を実施、空き農地情報バンクの地図化及び公表を行い、遊休農地となる前に耕作につなげるような活動をしている。 ・遊休農地を解消する事業を行い、地域の担い手に貸付を行った。	35.0ha			

具体的施策	具体的施策		具体的な事業		重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値	R5(4年目) 期末		R6(5年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の 見直しに関する意見	【意見に対する回答】	
										実績値	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況			
	(1)農産物の ブランド化の 推進	生産者、JA、行政など 関係者が連携して、都市 部をはじめとする大消費 地での北栄町農産品のP R、直売を行い、ブランド 力の一層の強化を図り ます。	・北栄町ブランドPR・販 売促進事業 ・農産物ブランド推進活 動支援事業 ・すいか・ながいも健康マ ラソン大会	主要品目の単価 ※1割アップ	・西瓜 3,396円/ケース ・ねばりっこ 380円/kg ・らっきょう 606円/kg ・ぶどう 950円/kg	・西瓜 2,056円/玉 ・ねばりっこ 399円/kg ・らっきょう 567円/kg ・ぶどう 1,155円/kg	・西瓜2,081円/玉 (4162円/ケース) 順調 ・ねばりっこ 391円/kg 概ね順調 ・らっきょう 671円/kg 順調 ・ぶどう 1,212円/kg 順調	・西瓜 3,761円/ケース 順調 ねばりっこ 412円/ケース 順調 らっきょう 640円/kg 順調 ぶどう 1,318円/kg 順調	・西瓜 3,907円/ケース ・ねばりっこ 458円/ケース ・らっきょう 524円/kg ・ぶどう 1,328円/kg <マラソン> 大栄西瓜 1,200玉 とろろ汁 4,000食配布	らっきょう以外 は順調。 らっきょうは天 候の影響を受け R4を下回っ た。 6/18に開催し たすいか・なが いも健康マラソ ン大会にて大栄 西瓜ととろろ汁 を振舞った	県内外で農産物PRイベントを各 生産部、JA、県等と協力し実施。 試食販売は各会場で好評。 産地維持を図るため補助金によ る支援を一部行った。 北栄町の特産品をより知ってい ただくためすいか・ながいも健康 マラソン大会会場にて、大栄西瓜 ととろろ汁を振舞い、県内外者に PRした。	・西瓜 3,994円/ケ ース ねばりっこ —未確定— らっきょう —未確定— ぶどう —未確定— 生涯学習課入 力 <マラソン> 大栄西瓜 1,100玉 とろろ汁 4,000食配布 順調	西瓜は順調。 その他農産物は未 確定。 6/16に開催した すいか・ながいも 健康マラソン大会 にて大栄西瓜とと ろろ汁を振舞った	県内外で農産物PRイベントを各 生産部、JA、県等と協力し実施。 試食販売は各会場で好評。 北栄町の特産品をより知ってい ただくためすいか・ながいも健康 マラソン大会会場にて、大栄西瓜 ととろろ汁を振舞い、県内外者に PRした。	・西瓜 3,735円/ケ ース ・ねばりっこ 418円/kg ・らっきょう 666円/kg ・ぶどう 1,045円/kg			
	(2)新たな販 路開拓、農商 工連携	北栄町農産品を活用し た商品開発や販路開拓 等を行う者の支援や町 内観光農園及び飲食店 と連携した町内周遊イ ベントを実施し、北栄町農 産品の付加価値を高め るとともに町内外に向 けた魅力発信に取り組 みます。	・食と農の魅力創造支援 事業 ・はくえい味覚めぐり	新たな商品開発件数	商品開発 1件/年	商品開発 1件/年	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	・(個人1人)	・6次化に意欲のある者からの相 談に随時対応し、必要に応じて県 農業振興課等と連携しながら助 言を行った。 ・6次化に取り組む者に対して、 食と農の魅力創造支援事業補助 金、もうかる6次化・農商工連携 支援(県)により支援を行った。	0件/年 遅れている	申請なし	・6次化に意欲のある者からの相 談に随時対応し、必要に応じて県 農業振興課等と連携しながら助 言を行った。 ・6次化に取り組む者に対して、 食と農の魅力創造支援事業補助 金、もうかる6次化・農商工連携 支援(県)により支援を行った。	商品開発 3件/ 年			
	(3)新規就農 への参入支 援と担い手 の育成・確保 将	将来、地域の担い手と なる新規就農者や認定 農業者、集落営農組織、 法人等の育成確保を図 ります。	・農業経営サポート事業 ・就農営農相談員の配置 ・農の雇用事業の活用 ・先進地視察研修 ・集落営農組織化、法人化 支援事業 ・青年就農給付金、就農応 援交付金、親元就農促進 交付金、就農条件整備事 業 ・アグリスタート研修(事 業主体:鳥取県)	求人数 ※常時雇用	15人/年	延67人/年	延24人/年 順調	1人/年 やや遅れている	0人/年 遅れている	町の人材紹介セ ンター	町の人材紹介センターへは相談 はなかった。JAの紹介センター と連携した。	0人/年 遅れている	町の人材紹介セン ター	町の人材紹介センターへは相談 はなかった。JAの紹介センター と連携した。	20人/年			
				新規就農者数	8人/年	11人/年	5人/年 やや遅れている	14人/年 順調	7人/年 やや遅れている	—	国・県等の補助金を活用して新規 就農者の支援に取り組んだ。 R5年度までに就農した者への R6.3月末の支援実績 農業次世代人材投資資金・経営 開始資金 17人 就農応援交付金 3人 親元就農促進支援交付金 13人 (就農条件整備事業6人)	1人/年 遅れている	—	国・県等の補助金を活用して新規 就農者の支援に取り組んだ。 R6.9月末の支援実績(R5年度 までに就農した者を含む) 農業次世代人材投資資金・経営 開始資金 15人 就農応援交付金 2人 親元就農促進支援交付金 10人 (就農条件整備事業0人)	10人/年			
(4)イチゴ産 地化の取り 組み	(株)北栄ドリーム農場 の取り組みを核に、地域 おこし協力隊制度を活 用してイチゴ栽培の技術 を有する人材を養成す るとともに、JA・県等 の関係機関が連携して、 イチゴの産地化に取 組めます。	・イチゴ地域おこし協力隊 事業 ・イチゴ栽培資材導入支 援	イチゴ栽培における 雇用者数	3人	3人 地域おこし協力 隊(5名)は除く	2人 地域おこし協力隊 (5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力隊 (7名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	—	・R2の人員体制から1名減	2人 地域おこし協力 隊(7名)除く 遅れている	—	・R2の人員体制から1名減	6人				

第2節 商工業の振興															
施策の基本的方向	【施策の基本的方向】 町内の商工業活性化を目指して、町商工会と連携して町内事業者及び創業を志す人を支援します。 また、雇用相談や職業紹介の場の提供による求職者への支援及び新規に雇用を行う事業者への支援を通して、雇用の確保及び町内事業者が求める人材のマッチングを促進します。	【令和5年度までの評価】							【令和6年度の評価】(中間)			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】	
		【～R3】 新型コロナによる地域経済対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。将来にわたって地域内循環を活性化する新たな取り組みとして町商工会が実施主体となる「ほくほくカード」の取り組みを支援し、持続可能な地域経済の維持・発展のきっかけづくりを行った。 【R4】 商工会と連携して、物価・燃油高騰対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。「ほくほくカード」の取り組みでは、必要に応じて町民生活を応援するためのポイントチャージキャンペーンを実施し、地域内循環の活性化を進めた。商工会と連携し、起業家数等の増加につなげた。 商工業の活性化、雇用・人材確保いずれの施策項目にも遅れが見られるため、情報発信・周知に努める。 【R5】 商工会と連携して、起業家数等の順調な増加につなげた。 経営課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援として、複業人材活用の取り組みを勧めた。 商工業の活性化、雇用・人材確保いずれの施策項目にも遅れが見られるため、情報発信・周知に努める。							商工会と連携して、起業家数等の増加につなげている。 経営課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援を引き続き強化していく。						
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値 (R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目) 期末			R6(5年目) 中間			目標値 (R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
				実績値	実績値／評価	実績値	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況			
		製造品出荷額等	83.7億円 (H30) ※速報値	数値なし ※令和3年 経済センサス	数値なし ※調査結果の未公表 評価なし	66.2億円 (R3) 遅れている	数値なし ※センサスはR8実施予定	—	・エネルギー・原材料価格の高騰化の影響を受けた町内事業者の持続的発展を支援するとともに、必要に応じて規模拡大等に係る支援を行った。	数値なし ※センサスはR8実施予定			83.7億円を維持		
		製造業従業者数	553人 ※速報値			560人 順調		—					553人を維持		
		年間商品販売額	266.9億円 (H28)			206.3億円 (R3)		—					266.9億円を維持		
卸売業・小売業従業者数	711人 (H28)	609人 (R3)	—			711人を維持									

※達成状況は経済センサス活動調査(令和3年、8年に実施予定)で確認。

具 体 的 施 策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 期末 実績値／評価 具体説明		R6(5年目) 中間 実績値／評価 具体説明		目標値(R7)	方向性や数値目標の 見直しに関する意見	【意見に対する回答】		
	(1)商工業活 性化の推進	商工会と連携して町内 事業者への支援を行い、 本町の商工業活性化を 促進します。 規模を拡大しようとし る事業者に対して、北栄 町企業立地促進奨励金 制度により、有効な支援 を行います。 また、「名探偵コナンに 会えるまち」の魅力をさ らに高めるために、由良 宿周辺地域での創業を 重点的に支援するととも に、空き店舗の有効活用 と事業継承を支援し、既 存の商店街の賑わい創 出を図ります。	・企業立地促進奨励金 ・創業支援事業 ・由良宿まちづくり活性 化支援事業 ・地域商業自立促進事業 (事業主体:北栄町商工 会) ・町内及び町外企業訪問 を行います。	商工会会員数	377社	400社	402社 順調	400社 順調	410社 順調	-	・商工会と連携し、エネルギー・原 材料価格の高騰化の影響を受け た町内事業者の持続的発展に向 けた支援を行った。	411社 順調	-	・商工会と連携し、エネルギー・原 材料価格の高騰化の影響を受け た町内事業者の持続的発展に向 けた支援を行った。	380社		
				町内企業増設社数 ※企業立地促進奨励 金申込み件数	4社/年	3社/1年	8社/2年 順調	11社/3年 やや遅れている	11社/4年 やや遅れている	1件	・工場を新設・増設及び機器の設 置を行う事業所に対し、企業立地 促進奨励金の案内を行っている。	14社/5年 やや遅れている	3社	・工場を新設・増設及び機器の設 置を行う事業所に対し、企業立地 促進奨励金の案内を行っている。	25社/6年		
				町内起業者数 ※創業支援事業利用 件数	3件/年	4件/1年	8件/2年 順調	13件/3年 順調	21件/4年 順調	8件	・北栄町創業支援事業、北栄町由 良宿まちづくり活性化支援事業 において起業・創業を支援した。	26件/5年 順調	6件	・北栄町創業支援事業、北栄町由 良宿まちづくり活性化支援事業 において起業・創業を支援した。	18件/6年		
	(2)雇用・人 材確保施策 の充実	雇用の安定、新たな雇 用の創出のため、雇用相 談・職業紹介の場の提 供、職業能力向上の推 進、雇用創出の取り組 みに対する支援、障がい のある人の就労支援など、 関係機関と連携しながら 各種の取り組みを進め ます。 また、事業者が求める 人材確保に係るマッチ ング支援を行います。	・町担当課に開設してい る雇用相談・無料職業紹 介所窓口の運用 ・町ホームページによるハ ローワーク求人紹介 ・農業経営サポーター事 業との連携支援 ・職業訓練及び資格取得 研修の周知 ・ふるさと就職応援事業 ・企業立地促進奨励金の 活用 ・町内事業所求人情報 コーナーの設置 ・障がい者雇用支援・啓発 事業 ・あいサポーター研修の 実施による企業への啓 発、相談支援の充実	特別創業支援認定者 数	5件/年	5件/1年	12件/2年 順調	16件/3年 順調	23件/4年 順調	7件	・産業支援センターや商工会が実 地する経営支援相談や研修会に 参加して認定された者に対し、町 から認定証明書を交付し、創業に 必要な支援を行った。	29件/5年 順調	6件	・産業支援センターや商工会が実 地する経営支援相談や研修会に 参加して認定された者に対し、町 から認定証明書を交付し、創業に 必要な支援を行った。	30件/6年		
				職業能力向上研修者 の正規雇用者数 ※町内者が研修受講し 、正規雇用となっ た人数	7人/年	5人/1年	5人/1年 やや遅れている	未算出 ※R5.4月以降に 判明 評価なし	19人/4年 遅れている	2人	・技能講習等の職業能力開発に関 する案内を、庁舎内に設置してい る「求人情報コーナー」に配架し、 就職者及び在職者に周知した。	未算出 ※R7.4月以降 に判明 評価なし	—	—	45人/6年		
				企業立地促進奨励金 利用雇用者数	6人/年	8人/1年	8人/2年 概ね順調	9人/3年 遅れている	11人/4年 遅れている	2人	・事業所の新設並びに増設に伴 い、町内者を雇用する事業所に 奨励金を案内する。	未算出 ※R7.3月以降 に判明 評価なし	—	—	40人/6年		

第3節 観光の振興

施策の基本的方向	【基本的方向】 「名探偵コナンに会えるまち」という本町ならではの取り組みや、恵まれた自然環境、豊かな特産品、青山剛昌ふるさと館に近接する国史跡 由良台場跡など多くの文化・歴史・文化財資源などを活かし、その魅力をさらに高める取り組みを推進することで、本町の魅力を多くの人に知ってもらい、交流人口を増加させるとともに地域経済の活性化につなげ、地域の賑わいと活力を創出します。	【令和5年度までの評価】						【令和6年度の評価】(中間)			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】	
		【～R3】 新型コロナ感染拡大の影響から、入込客数などの実績は大幅に減少した。非接触などの感染対策や地元需要喚起対策に取り組みながら、令和4年度に向けて誘客体制を整備している。 【R4】 コロナ規制緩和が行われたことで、客足が戻り実績値は概ね達成することができた。インバウンド客は、ピーク時には及んでいないが、鳥取中部推進機構等と連携し、引き続きプロモーションを強化していく。コロナ禍の落ち込みから、客足が回復に転じてきた。 高規格幹線道路の完成や道の駅再整備を見据え、国内外のプロモーションを引き続き強化していく。 【R5】 米子ソウル便、米子香港便、台湾チャーター便が再開されインバウンド客の取り込みも回復傾向にある。コロナは5類に移行し、ふるさと館の入館者はコロナ前の水準に戻りつつあり、町内への観光入込客数も順調に回復している。道の駅の整備、ふるさと館の再整備等を見据え、今後も継続してイベント、PRを強化し、一層の交流人口増加を図っていく。						・ふるさと館をはじめ、観光施設の入込数は順調に増加している。 ・北条オートキャンプ場については減少傾向にあるが、4月に新設されたBBQ棟利用者がキャンプ場全体の3割以上を占めており、今後の利用増が見込まれる。 ・インバウンドについては、ふるさと館の入館実績で昨年同時期比1.5倍と増加しており、今後も香港定期便運航等による増加を見込んでいる。 ・各種イベント等継続して行うことで、一層の交流人口増加を図っていきたい。						
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目) 期末	R5(4年目) 期末		R6(5年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
				実績値	実績値／評価	実績値	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明			
		北栄町観光入込客数	76万5千人/年	45万6千人/年	44万3千人/年 遅れている	55万8千人/年 (見込) 概ね順調	69万1千人	コロナ流行以前と比べて、客足は順調に回復している	北条オートキャンプ場にBBQを新設、道の駅大栄のレストランが営業再開するなど、各施設において、今後観光客の増加が見込まれる。	47万9千人	目標値に対して順調。	・各月とも前年と比べ増加しており、施設毎にみても、一部を除き、順調に増加している。 ・キャンプブームの終焉ということもあり、北条オートキャンプ場については入込客数が減少傾向にあるが、4月に新設されたBBQ棟については、珠雲長に客数は増加しており、キャンプ場全体の3割以上を占めている。	105万7千人/年	

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 期末 実績値／評価		R6(5年目) 中間 実績値／評価			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
	(1)「名探偵コナンに会えるまち」の推進等による観光地づくり	「名探偵コナンに会えるまち」の推進による観光ルートづくりを推進するとともに、飲食・物販施設の開設等を促すことで交流人口の増加・地域経済の活性化を図ります。 青山剛昌ふるさと館を、「名探偵コナンに会えるまち」北栄町のシンボルとして、必要な機能を取り入れ充実させ、町民はもちろんのこと、ファンや観光客にも愛される施設に再整備します。また、作品の保存・展示やイベントの企画運営に携わる専門的人材の育成や活用を進めます。	・青山剛昌ふるさと館の再整備事業 ・コナン通り及び周辺の修景整備 ・青山剛昌ふるさと館及び周辺におけるイベント・企画展の開催 ・SNSを用いた情報発信事業 ・国内外プロモーション活動事業 ・観光情報の多言語化 ・新たな観光ルート作成 ・由良駅(コナン駅)整備事業 ・すいか・ながいも健康マラソン大会 ・由良台場・六尾反射炉発信、連携事業	青山剛昌ふるさと館入館者数	22万人/年	6万4千人/年	8万3千人/年 遅れている	13万4千人/年 概ね順調	18万人/年	・コロナ5類移行に伴い入館者数が回復傾向。 ・人流がコロナ前に戻ってきており、入館者数は増加している。 ・混雑緩和のため入館制限を行ったかわりに、繁忙期以外の時期にイベントを打った。これにより繁忙期以外の時期にも入館が増えつつある。 ・海外団体の入館も増え、インバウンドも回復傾向にある。	13万7千人	・目標値に対して順調。 ・入館者数は前年比130%で、増加傾向。繁忙期以外の時期にイベントを打っているため、6月、7月、9月の入館者数が過去最高を記録。 ・インバウンドは去年同時期の1.5倍ほど。ピーク時ほどではないが、香港定期便運航などの影響で、回復傾向にある。	20万人/年		
	(2)道の駅の整備	本町の2つの道の駅を、観光情報発信する広域交流拠点として位置づけ、道の駅「北条公園」について、国や施設の管理運営者と連携しながら再整備を進めます。また、道の駅「大栄」についても、再整備に関する検討を行います。	・道の駅再整備事業	道の駅「ほうじょう」への立寄者数(レジ通過者数)	4万3千人/年	2万9千人/年	2万人/年 遅れている	1万人/年 順調	道の駅「ほうじょう」は現在再整備のため、実績はありません。	—	道の駅「ほうじょう」は現在再整備のため、実績はありません。	—	33万人/年		
				道の駅「大栄」への立寄者数(レジ通過者数)	31万1千人/年	26万8千人/年	24万8千人/年 遅れている	26万4千人/年 概ね順調	30万2千人 順調	コロナ流行以前と比べて、変わらないほど、順調に客足は戻っている。 ・新しくオープンしたレストランも順調に客足を増やしている。 ・目標達成は十分に見込める。	18万人 順調	目標値に対して順調。 ・各店舗とも前年比と同程度かそれ以上の客数となっており、順調に増加している。 ・月によっては前年比125%の店舗もあり、目標達成は十分に見込める。	32万6千人/年		
	(3)広域観光の促進	鳥取県中部圏域の観光関係団体と連携しながら、特産品をはじめ地元素材を活用した周遊性のある取り組み及び国内外への戦略的な魅力発信を行います。また、山陰道(北条道路)及び北条湯原道路等の高速ネットワークを活用した広域的な観光ルートを整備します。	・広域観光連携モデル事業	鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年(H30年)	180万8千人/年(R1年)	124万6千人/年(R2年) 遅れている	126万5千人/年(R3年) 概ね順調	318万1千人(2月末) 達成	人通りはコロナ流行以前と比べて、変わらないくらいには戻っており、月別にみるとコロナ流行以前より多い月もある。 ・鳥取中部観光推進機構が中心となり、インバウンド増加に注力。海外旅行会社の企画する中部エリアにおけるツアーを支援したり、韓国・香港・台湾にてプロモーションを行った。 ・順調に人通りが増えており、目標を達成できた。	中間集計の数値未集計(12月頃)	—	—	250万人/年	

第4節 環境・エネルギー施策の推進	【基本的方向】 2019年12月に表明した「気候非常事態宣言」に基づき、2050年までのゼロカーボン(人為起源のCO ₂ 排出の実質ゼロ)に向けた取り組みを推進します。徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の活用によりCO ₂ の排出削減を行うとともに、それらの取り組みを地域でお金が回る仕組みづくり、健康かつ快適な生活の実現、災害時のための分散型エネルギーシステムの構築などにつなげます。	【令和5年度までの評価】							【令和6年度の評価】(中間)			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】			
		【～R3】 全体的に重要目標達成指標の実績値は増加し順調に進捗している。各種補助金制度について町HPや町報で周知して省エネ、再エネへの関心を高めて設備導入等を支援することで、地元産業の振興、災害に強く安心して快適に暮らせる住まいの実現につなげた。令和3年度には地域新電力会社が設立され、令和4年度の公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約に向けた準備を進めている。 【R4】 目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまちの取り組みを続ける。 【R5】 目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまちの取り組みを続ける。							目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまちの取り組みを続ける。								
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値/評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 期末 実績値/評価	R5(4年目) 期末 具体説明	R5(4年目) 期末 取組内容・状況	R6(5年目) 中間 実績値/評価	R6(5年目) 中間 具体説明	R6(5年目) 中間 取組内容・状況	目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】		
		再生可能エネルギー導入量 ※町が関与した導入	15,807kW	15,873kW	16,010kW 順調	16,096kW 達成済	16,177kW 達成済	・創エネ補助金(太陽光発電) 85kW ・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2023.6月号)で補助制度についての記事掲載	16,300kW 達成済	・創エネ補助金(太陽光発電) 123kW ・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2024.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・事業者向けの補助制度説明会を開催 ・住民ワークショップなどで周知	15,977kW						
具体的施策	(1)再生可能エネルギー等の活用によるまちづくり	風力、木質バイオマスなど地域の再生可能エネルギーを活用する取り組みを一層推進するとともに、家庭や事業所における再生可能エネルギー等設備導入の取り組みを支援します。また、地域新電力事業、熱供給事業など、エネルギーを地産地消できる仕組みづくりを行います。	・公共施設等への創エネ等設備の導入推進 ・風力発電事業の推進 ・北栄町バイオマス産業都市構想の推進 ・地域新電力事業に関する検討 ・家庭用創エネ設備等設置費補助金事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値/評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 期末 実績値/評価	R5(4年目) 期末 具体説明	R5(4年目) 期末 取組内容・状況	R6(5年目) 中間 実績値/評価	R6(5年目) 中間 具体説明	R6(5年目) 中間 取組内容・状況	目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
		家庭用創エネ設備等設置件数	354件	387件	422件 順調	458件/3年 順調	495件/4年 順調	・太陽光発電 16件 ・蓄電池等 19件 ・薪ストーブ等 1件 ・HEMS 2件	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2023.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・住民ワークショップなどで周知	538件/5年 達成済	・太陽光発電 21件 ・蓄電池等 20件 ・HEMS 2件	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2024.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・事業者向けの補助制度説明会を開催 ・住民ワークショップなどで周知	430件/6年				
		中部圏域における地域新電力会社の立ち上げ支援	0社	0社	1社 順調	1件 達成済	1件 達成済	—	—	1件 達成済	—	—	1社				
		公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約率	0%	0%	0% 評価なし	0% 順調	約95% 順調	公共施設の電気を鳥取みらい電力に切り替え済	R5.4から公共施設の電気は鳥取みらい電力へ切り替え※融雪装置(冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。風力発電に關する電気は切り替え手続き中であり、R6.8月に切替予定	約95% 順調	公共施設の電気を鳥取みらい電力に切り替え済	R5.4から公共施設の電気は鳥取みらい電力へ切り替え※融雪装置(冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。風力発電に關する電気は切り替え手続き中であり、R6.10月に切替予定	50%				
具体的施策	(2)環境にやさしく、健康で快適なライフスタイルへの転換	断熱性能に優れた省エネ住宅の建築・改修の普及促進により、エネルギー消費を減らすとともに、健康で快適な住生活の実現に取り組みます。また、まずは公共が模範を示すべく、公共施設等におけるエネルギー利用のあり方等について検討します。	・省エネリフォーム助成事業 ・省エネ建築や省エネリフォームに関する町民、事業者への普及啓発事業 ・CO ₂ 大幅削減を実現する公共施設等のあり方検討及び適正管理	省エネリフォーム戸数	149戸	156戸	172戸 概ね順調	180戸 概ね順調	184戸 要見直し	・断熱改修 3件 国の補助事業の要件を満たさない場合に町補助金利用	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2023.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・住民ワークショップなどで周知 ・R6年度にZEH基準の補助事業を新設、既存の補助事業(省エネ基準)についても1人が1度しか利用できなかった点について見直し。	187戸 要見直し	・断熱改修 3件 ZEH基準の補助事業への問い合わせなど関心は高い。	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2024.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・事業者向けの補助制度説明会を開催 ・住民ワークショップなどで周知 ・R6年度にZEH基準の補助事業を新設、既存の補助事業(省エネ基準)についても1人が1度しか利用できなかった点について見直しした。	250戸		

第2章 住みたくなる・住み続けたいなるまちづくり

第1節 子どもを産み育てやすいまちづくり

施策の基本的方向	【基本的方向】 子育て世代包括支援センター(ネウボラ)の機能を充実させ、早期から支援を切れ目なく行うための体制を構築します。また、幼児教育・保育サービスの充実等により、誰もが働くことと子育てを両立できる社会の実現を目指します。子育てと仕事の両立や、世代間・地域がつながり、安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指し、社会全体で子育てを支援する支え愛の取り組みを進めます。	【令和5年度までの評価】						【令和6年度の評価】(中間)			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】		
		[～R3] 各種子育て支援事業を予定どおり実施しており、今後も支援体制の充実するため、庁内の連携のあり方について検討を進めた。 [R4] 子育て支援センターを中心に相談等を重ねた。こども園の中途入所に対する待機については、引き続き有資格者の確保に努める。 [R5] 他課からネウボラ内に児童虐待対策業務を移管し、支援体制の充実を図った。						ネウボラを中心に支援体制の充実を行っている。							
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目) 期末	R5(4年目) 期末			R6(5年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
				実績値	実績値／評価	実績値	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況			
				町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※町民アンケートのうち、「関心がない」「無回答」を除いた構成比	71.8%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施 評価なし	- 評価なし	- 評価なし	※調査は令和7年度に実施	・子育て支援センター(ネウボラ)によるワンストップ窓口として総合的な支援サービスを提供した。 ・出産子育て応援交付金事業を実施し、相談支援と経済的支援を同時に実施した。	- 評価なし			

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 期末 実績値／評価		R6(5年目) 中間 実績値／評価			目標値(R7)	方向性や数値目標の 見直しに関する意見	【意見に対する回答】															
	(1)結婚・出産・子育てに 安心、喜びを 感じられる環 境づくり	結婚の意思がある若い 世代の希望の実現を図 るため、新婚世帯に対 する金銭面等のサポート を行います。また、妊娠・ 出産について、より多く の人が希望を叶えられ るよう特定不妊治療費 助成を行うとともに、妊 娠適齢期についての普及 啓発を行います。安心し て子どもを産み育てるこ とができる環境づくりを 推進します。	・乳幼児健診・子育て支援 センターでの乳幼児相談 ・離乳食講習会 ・育児教室 ・赤ちゃん訪問(保健師) ・乳幼児全戸訪問(訪問相 談員) ・養育支援訪問 ・個別支援プランの作成 ・産前・産後サポート ・結婚新生活支援事業(新 婚世帯に対する住居費等 に関する支援) ・特定不妊治療費助成事 業 ・若者への啓発事業(親育 ち事業、成人式にパンフ レット配布)	育児について相談し たり、話したりする 人があると答える人 の割合	98%	93.6 % (3歳児健診)	99.0 % (3歳児健診) 順調	97.3% (3歳児健診、3月 末) 概ね順調	99% (3歳児健診) 順調	3歳児健康を受診 した保護者のうち、 育児について相談 したり、話したりす る人があると答 えた人の割合。	95.3% (3歳児健診) 概ね順調	3歳児健康を受診 した保護者のうち、 育児について相談 したり、話したり する人があると 答えた人の割合。	・「育児教室における相談支援」、 「相談相手がない方の対応」、「妊 娠期からの早期介入」は保健師等 による面談を行い保護者の不安 解消に努めています。 ・産後早期に支援者が不足する方 に対し、産後ケア事業や養育訪問 事業等による支援を行った。 ・相談者がいないと答えた保護者 へ相談先等の情報提供を行って いる。	100%																
																	妊娠適齢期という言 葉を知っている人の 割合 ※成人式アンケート	86.2%	数値なし ※成人式延期の ため	74.6% 遅れている	項目削除されたお り、アンケート実施 なし 評価できず	82人/117人 70% 遅れている	成人式(二十歳 の集い)の参加 者のうち、妊娠・ 出産に適齢期が あると知っている 人と答えた人の 割合	・成人式(二十歳の集い)でパンフ レット(妊娠について)の意識啓発・ 問題回避)を配布する予定。 ・中部5市町共催で思春期保健講 演会を実施した。 ・共同作成パンフレットのアン ケートを実施し、小中学校の養護 教諭が個別指導に活用している ことが分かった。	未実施 ※成人式にて実 施予定	成人式(二十歳 の集い)の参加者 のうち、妊娠・出 産に適齢期があると 知っている人と答 えた人の割合	・成人式(二十歳の集い)でパンフ レット(妊娠について)の意識啓発・ 問題回避)を配布する予定。 ・12/8(日)に中部5市町共催で 思春期保健講演会を実施予定。	90%		
	(2)子育て世 代への支援 と幼児教育・ 保育サービ スの充実	保育料の無償化や在宅 育児世帯支援事業給付 金等による子育て世代 への財政的支援や、延長 保育、病児・病後児保育、 休日保育、放課後児童ク ラブの実施による子育て 支援の充実を図ります。 。	・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・休日、病児・病後児保育 事業 ・放課後児童健全育成事業 ・在宅育児世帯支援事業 給付金 ・幼児教育・保育無償化 ・子どもの医療費助成制 度 ・ひとり親家庭医療費助 成制度 ・インフルエンザワクチン 等の接種補助 ・新生児の家庭へのごみ 袋無料配布	こども園入所待機児 童数	0人	5人	2人 遅れている	8人 遅れている	10人 遅れている	入所保留通知 書の送付数	0人	厚生労働省「保育 所等利用待機児童 数調査」基準によ る計上	・職員配置について、国基準を上 回る北栄町の基準を設け、乳幼 児が安心して過ごせる人的環境 を整えたが、今後申込のあった 児童全てを受け入れる職員配置 は職員が不足するためできない 可能性がある。 ・在宅育児支援事業により、家庭 で保育する保護者に給付金を支 給した。	0人の継続																
																	放課後児童クラブ待 機児童数	0人	0人	0人 順調	0人 順調	0人 順調	申込のあった全 ての利用対象児 童を受入れた。	・申込のあった全ての利用対象 児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にい ない児童を放課後に預かり、児童 の健全育成を行った。	0人 順調	申込のあった全 ての利用対象児 童を受入れた。	・申込のあった全ての利用対象 児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にい ない児童を放課後に預かり、児童 の健全育成を行った。	0人の継続		

第2節 未来をつくる教育の推進

施策の基本的方向	【施策の基本的方向】 地域の将来を担う人材の確保が課題となる中、子どものときから自分の生まれ育った町と地域の魅力を知り、誇りと愛着を持つための機会を提供します。 児童生徒の「生きる力」を育成するため「家庭」「地域」「学校」が連携し「確かな学力づくり」「豊かな心と人間関係づくり」「健康な体と体力づくり」に取り組みます。	【令和5年度までの評価】						【令和6年度の評価】(中間)			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】	
		【～R3】 新型コロナの影響で、鳥取中央育英高校の「地域探究の時間」では、現地での活動が制限されたり、中止されたりするなどの影響があったが、オンラインで学生が交流したり、成人式や発表会をオンライン形式で行ったりする等、新たな活動方法も生まれている。 学校教育場面では、ふるさとキャリアパスポートを活用しながら、地域やふるさとを考える機会づくりを進めた。また、コミュニティスクールの推進により地域の方々と交流することができ、地域について考える機会が増えている。 【R4】 学力面の低下が顕著に出ている。小中高の連携、生涯学習など学校と地域の連携が改めて重要。 【R5】 コロナ禍の制約も解け、予定していた事業を着実に実施した。 鳥取中央育英高校の地域探究は令和5年度、北栄町を中心とした地域の人材の紹介をおこない、生徒の地域への関心度を高めることができた。						コミュニティスクールの活動を通じて地域と学校の交流が進んでいる。中学校と高校の関わりやエイ！フェスのような地域で活躍する機会もでき、児童、生徒が地域の魅力を知り、自身の可能性を引き出すきっかけをつくることができた。						
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 期末 実績値／評価		R6(5年目) 中間 実績値／評価			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
		高校卒業後、地元を離れたが将来は地元に戻って就職したいと思う人の割合 ※成人式アンケート	51%	数値なし ※成人式延期のため	50% 遅れている	53.9% 順調	51.28% 概ね順調	希望する29.06% どちらかという と希望する 22.22%	取組内容・状況 ・「地域探究の時間」における地域の魅力の発信、課題解決を図る人材育成。 ・ボランティア体験により地元の理解を深め、社会性を学んでいる。	数値なし 実績は期末に	—	成人式(二十歳の集い)でアンケートを実施するため、現時点では未実施	55%	

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値	R5(4年目) 期末		R6(5年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の 見直しに関する意見	【意見に対する回答】													
	(1)地域を支える人材の 育成	学校や家庭だけでなく、地域が子どもを守り育てていく主体の一人であるという意識の醸成を図りながら、地域社会全体で将来の北栄町を担う人材となる子どもへの関わりづくりの取り組みを推進します。 職業体験、SDGsに関する学習、地域課題の探究プログラム、地産地消、地域の観光・産業等を活用した地域における学びの機会を提供し、子ども達の将来の選択肢や可能性を広げます。	・鳥取中央育英高校との連携による「地域探究の時間」の実施 ・鳥取大学と連携による実践型学習の実施 ・ほくほくプラザにおける企業と連携したSDGs教育プログラムの実施 ・コミュニティスクールの導入、実践 ・地域で子どもを育てる体験活動支援補助金事業の推進 ・地域行事への参加促進(家庭教育12か条キャンペーン、朝の元気配達便等) ・生き方を学ぶ講演会 ・職場体験学習 ・小中学校授業(生活・総合的な学習)におけるふるさとキャリア教育 ・総合的な学習における地域人材の活用 ・地元産食材を活かした学校給食と食育推進 ・地域の文化・歴史・文化財を活かした魅力発見・体感事業の推進(地域副読本、北栄ふるさとかるた、北栄みらい伝承館の活用、出前講座等)	【中3】 35.9% (国39.4%) (県40.8%)	数値なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため全国調査なし	【中3】 51.3% (国43.8%) (県45.6%) 順調	【中3】 52.6% (国40.7%) (県42.2%) 順調	【中3】 61.2% (国63.9%) (県68.1%) 国、県を下回るが、昨年度より数値は伸びている	令和5年4月18日実施の全国学力・学習状況調査結果より。 質問事項が「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に変更	取組内容・状況 ・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組を実践 ・ボランティア活動の周知 ・小中学校でふるさとキャリア教育、生き方を学ぶ講演会、地元産食材を使った調理実習、SDGsについての学習などに取り組んだ。 ・ほくほくプラザ事業でSDGs推進学習を実施 ・地域の人材や北栄ふるさとカルタを活用した青少年育成講座(おもしろまなびタイム)の実施	実績値／評価 【中3】 81.4% (国76.1%) (県76.8%) 国、県を上回る。	令和6年4月18日実施の全国学力・学習状況調査結果より。 質問事項が「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に変更	取組内容・状況 ・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組を実践 ・ボランティア活動の周知 ・小中学校でふるさとキャリア教育、生き方を学ぶ講演会、地元産食材を使った調理実習、SDGsについての学習などに取り組んだ。 ・ほくほくプラザ事業でSDGs推進学習を実施	【中3】 国県数値以上														
																	鳥取県の課題に対してアイデアがある高校生の割合 ※実践型学習「地域探究の時間」の事前事後アンケート	41.4% (事前30.4%)	44.6%(事前22.4%)	50.4% (事前23.5%) 順調	40% (事前39%) やや遅れている	62.8% 順調	－	数値なし 実績は期末に	－	50%/毎年		
(2)教育環境の 充実	習熟度に応じた授業やICT教育の導入等による学力の向上、人権教育・体験活動・スポーツ活動・国際理解教育等を通じた豊かな心と健やかな体の育成に取り組めます。また、子ども一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細かな個別支援を行います。	【確かな学力づくり】 ・特別支援教育の充実 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置 ・講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学テ・NRT・CRT等) ・学び力向上アクション週間の設定 ・国際理解教育の推進(小・中学校外国語授業、中学生英語力向上事業等) ・中学生英検検定料助成事業 ・高校生遠距離通学費助成事業 ・サマースクール ・フリースクール利用料助成事業 ・学習支援事業 【豊かな人間関係づくり】 ・ハイパー・QU調査 ・いじめ実態調査 ・生き方を学ぶ講演会の開催等 ・地域・学校とともに人権を学ぶ機会の提供 ・通学合宿	全国学力・学習状況調査平均正答率	【小6】 国語61% (国63.8%) (県63%) 算数63% (国66.6%) (県63%) 【中3】 国語71% (国72.8%) (県73%) 数学58% (国59.8%) (県60%) 英語55% (国56%) (県54%)	数値なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため全国調査なし	【小6】 国語 66% (国64.7%) (県64%) 算数70% (国69%) (県70.2%) →順調 【中3】 国語 62% (国64.6%) (県63%) 数学54% (国56%) (県57.2%) 英語 実施なし →下回っている	【小6】 国語 57% (国65.6%) (県64%) 算数58% (国63.2%) (県62%) 理科58% (国63.3%) (県63%) →下回っている 【中3】 国語 67% (国69.8%) (県69%) 数学46% (国51.0%) (県50%) 英語34% (国45.6%) (県42%)	令和5年4月18日実施の全国学力・学習状況調査結果より。	・確かな学力づくり 講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学テ・NRT等)、サマースクール実施、学力向上アクション週間の設定、自治会等地域ボランティア学習活動支援事業等	【小6】 国語 65% (国67.7%) (県68%) 算数62% (国63.4%) (県63%) 【中3】 国語 58% (国58.1%) (県57%) 数学52% (国52.5%) (県50%)	令和5年4月18日実施の全国学力・学習状況調査結果より。	・確かな学力づくり 講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学調、とっとり学調・学力調査・NRT等)、サマースクール実施、学力向上アクション週間の設定、自治会等地域ボランティア学習活動支援事業等	【小6】 国県数値以上 【中3】 国県数値以上															
																不登校児童生徒の出現率	【小学生】 H30:0.64% (国0.69%) (県0.86%) 【中学生】 H30:2.78% (国3.64%) (県3.58%)	・小=1.36% (国1.00、県1.19) ・中=4.18% (国4.09、県3.75)	【小学生】 1.84% (国不確定) →評価なし →出現率が高い 【中学生】 6.01% (国不確定) (県3.80%) →出現率が高い	【小学生】 1.49% (国、県未公表) →評価なし 【中学生】 6.18% (国、県未公表) →評価なし	国はR5,10月発表の数値	・豊かな人間関係づくり ハイパー・QU調査、いじめ実態調査、北栄町いじめをなくそうサミットの開催、生き方を学ぶ講演会の開催等 ・SSWによるアウトリーチによる支援 ・チーム学校としてSC、SSWによる支援の方向性や情報共有				【小学生】 国県数値以下 【中学生】 国県数値以下		

第3節 移住定住の促進																	
施策の基本的方向	【基本的方向】 移住に関心はあるが北栄町のことをよく知らない人、北栄町への移住に関心のある人など、それぞれの関心の度合いに応じた情報発信・情報提供を行います。また、移住者への様々な支援を行い、北栄暮らしを応援し、定住へとつなげていきます。			【令和5年度までの評価】								【令和6年度の評価】(中間)			【基本的方向に対する意見】		【意見に対する回答】
				【～R3】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地方移住や地元へのUターンの機運が高まっているなか、オンラインツールを利用した移住相談会の開催等により、移住者数の実績値は増加した。 【R4】 相談会の開催回数の減少に比例して、移住者数の現象が見られる。コロナの影響による相談会の回数減の影響が表れた。 【R5】 移住相談会のオンライン開催が定着している。オンライン移住相談会で個別相談をした方は個別相談自体の数は少ないものの移住につながっている。町への連絡ツールとして参加をしている傾向がある。								移住相談会の現地開催が再開され、オンラインも併用しながら実施し、個別相談自体の数は少ないものの移住につながっている。分かりやすい移住・空き家改修補助金等の案内チラシを作成し、町HPでの周知や空き家バンク利用希望者へ丁寧に案内することで、移住につながっている。					
				重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目) 期末			R6(5年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
						実績値	実績値／評価	実績値	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況			
		移住者数 ※県への移住者報告数	66人/年	79人/年	91人/年 順調	63人 R5.3.13現在 やや下回っている	77人／年	10代15人 20代27人 30代19人 40代7人 50代2人 60代6人 80代1人	・各種補助事業(移住者住宅取得支援補助金、移住者住宅取得支援補助金若年層加算、IJU空き家改修支援事業補助金)による支援	33人 やや下回っている	10代以下2人 20代15人 30代3人 40代2人 50代2人 60代4人 70代以上5人	・各種補助事業(移住者住宅取得支援補助金・若年層加算あり、IJU空き家改修支援事業補助金)による支援	75人/年				
具体的施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目) 期末			R6(5年目) 中間			目標値(R7)	方向性や数値目標の見直しに関する意見	【意見に対する回答】
	(1)情報発信・情報提供体制の構築	都市圏での相談会参加、オンライン相談会開催等による情報発信、移住定住に関する相談窓口の整備等により、移住に関心がある人への積極的な情報提供、体験機会の提供を行います。	・移住定住相談員配置事業による相談窓口のワンストップサービス ・お試し住宅事業 ・地域おこし協力隊事業	移住相談会へ参加	8回/年	10回/年	10回/年 順調	6回 やや遅れている	・移住相談会への参加7回 ・町主催オンライン相談3回 順調	・移住相談会への参加7回 (5.6.9.10.11.1.2月) ・町独自のオンライン相談会3回	・移住相談会への参加、町独自のオンライン相談会の開催。窓口での相談受付	移住相談会への参加3回 やや遅れている	・移住相談会へ参加(5.7月)	・移住相談会への参加、町独自のオンライン相談会の開催。窓口での相談受付	10回/年		
	(2)北栄暮らしの支援	北栄町への移住を促進するための各種支援を行います。	・移住奨励金事業 ・若年層移住定住者住宅取得補助金事業(対象：18歳～45歳) ・空き家家財処分費補助金事業 ・IJUターン空き家改修支援補助金事業 ・Uターン者就職活動交通費補助金事業 ・空き家情報バンク事業	県外転入者の移住奨励金利用件数 ※住宅取得又は空き家情報バンク物件の賃借	2件/年	6件/年	4件/年 順調	4件 概ね順調	4件／年 概ね順調	・新築1件、家財道具処分2件、IJU1件	・県外転入者に対して、移住者住宅取得支援補助金等該当の補助金を交付。	5件 順調	・空き家情報バンク売却3件・賃貸2件 ・家財道具処分1件、IJU1件	・県外転入者に対して、空き家改修支援補助金等該当の補助金を交付、空き家バンク物件の県外者へのマッチング。	5件/年		
	(3)北栄暮らしの魅力向上に向けた総合的な検討	北栄町への移住定住者を増やしていくためには、大前提として、北栄町における暮らしの魅力そのものを向上させていくことが何より重要となります。このため、今後の社会情勢の変化や移住者の方々を含めた町民からの意見も踏まえつつ、通信環境・交通手段等のインフラにおける課題、土地の利活用における課題等、北栄町が「住み続けたいまち」として選ばれるに当たった課題について総合的に整理し、新たな政策の検討を行っていきます。		—	—	—	— 評価なし	— 評価なし	— 評価なし	—	北栄町の移住定住者の増加に向けた様々な施策を総合的に実施。 令和5年度は鳥取県全体として移住者数増加を図るため相談会の拡充や広報の方法の改良に取り組んでいる。 数値的な比較基準がないため「評価なし」としている	— 評価なし	—	北栄町の移住定住者の増加に向けた様々な施策を総合的に実施。 令和6年度は鳥取県全体として移住者数増加を図るため相談会の拡充や情報発信(町への移住者インタビュー等)に取り組んでいる。 数値的な比較基準がないため「評価なし」としている。	—		